

2012年7月29日（日曜）

立山（雄山）（3003m）

レポート by 熊本

今回の北陸登山ツアー4日目は北アルプスの立山・雄山（3003m）であり、白山とともに、日本三大靈山の一つである。また09年に発見された雄山の裏側にある御前沢の氷河も見たい。

熊本にとっては雄山は4回目の挑戦になる。



29日（日）朝4:45の立山駅ケーブルカーの切符売り場には始発6:00発の切符に既に5名並んでいる。我々も交代で並び、発売開始5:20を待つ。

何とか始発切符を入手する。

昨日の土曜日の室堂はバス待ち3時間の大混雑とのこと。

我々は富山空港17:05発のフライトがあり、渋滞は避けねばならない。



5:30に朝食をとり、駅前旅館「千寿荘」前で写真を撮りいよいよスタート。

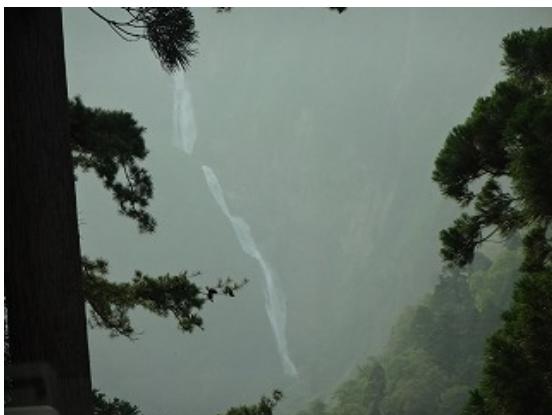


立山駅でケーブルカー6:00の改札を待つ。

美女平駅まで7分で最高斜度は29度だそうだ。



美女平駅から室堂へバスで約1時間。  
勿論、一番のバスに乗る。  
時刻表では始発のバスは 6:30 だが、それより早く臨時便の 6:10 発が出た。



途中、立山杉や、薬師岳等の観光案内のビデオが流れ飽きない。  
左写真は「称名の滝」で落差 350m は日本一だそうだ。



春の「雪の大谷」は今年は 17m もの高さがあったらしいが、本日でもその名残がありピークで 4 m ほどもあった。



6:50 に室堂バスターミナルに到着。  
標高 2450m。  
何と昨日朝いた白山室堂とほぼ同じ高さである。偶然か？



室堂で記念写真一枚

7:10 登山開始。



室堂は晴れているが、雄山の中腹以上は

ガスっており山頂は見えない。

残雪の山の撮影に余念がない。



室堂付近は一面のお花畠だ。



ヨツカシオガマ



フサフサと繊毛のチングルマの実



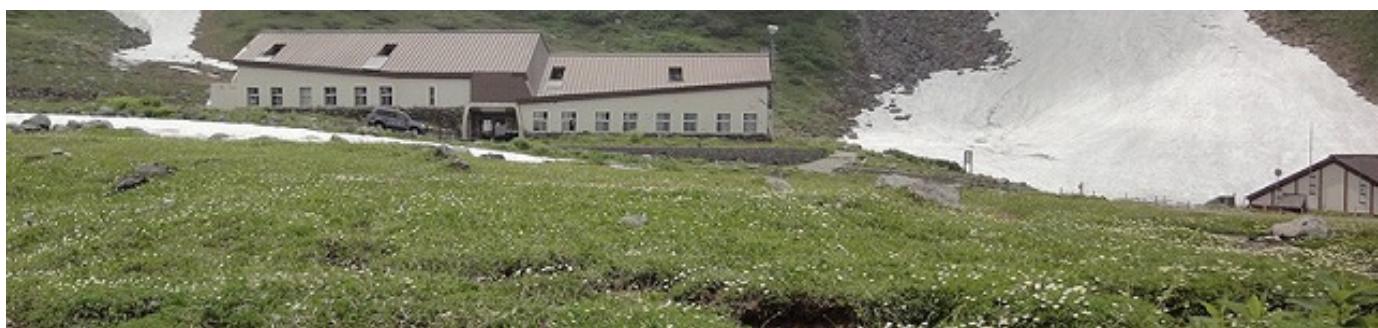
美山キンポウゲとハクサンイチゲ



チングルマ



イワツメクサ



室堂山荘付近の丘一面が花に覆われている。



石畳の登山道を一ノ越に向かって歩き始める。



最初の雪渓は長さ 30m ほど。  
雪はザラメ状になっている。



三番目の雪渓は 100m 近く傾斜もあり慎  
重にわたる。  
凍っていないのでアイゼンは必要はな  
い。  
大小合わせて雪渓を 7 か所トラバース  
する。



春山を思わせる残雪の多さである。



約1時間、一ノ越まではこの石畳の登山道と雪渓トラバースの繰り返しが続く



8:03 一ノ越山荘に到着。  
標高 2700m (白山山頂とほぼ同じ高さ)  
ここから山頂まではガレ場と岩壁が続きコンパスの短い鶴飼さんは時間がかかり皆の足を引っ張ては、いけないと、ここで待つと申し出た。

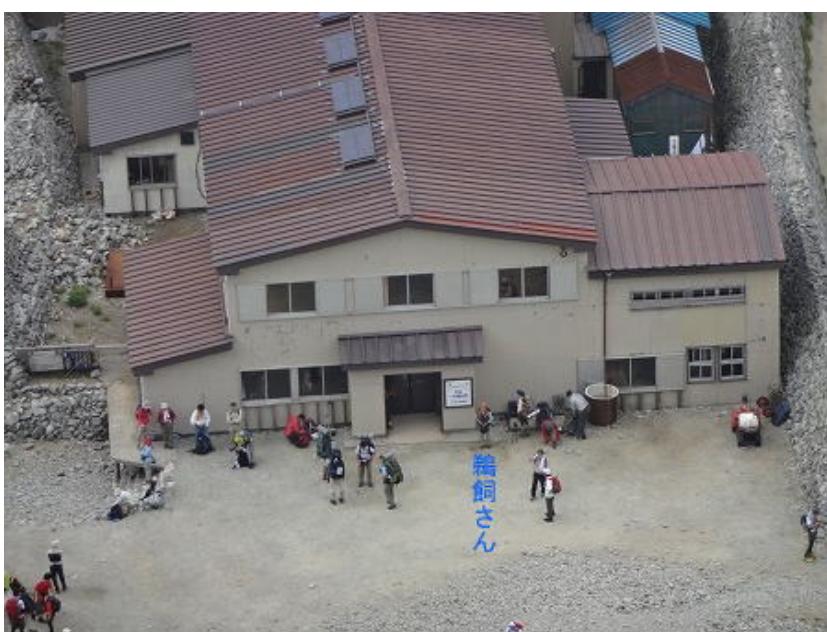


登り始めからガレ場で足元は悪い。



ガレ場に取りつく三人。

(鶴飼さん撮影)



鶴飼さんが山荘前入り口で見送ってくれている。



尾根に出てもガレ場が続く



ガレ場から岩峰に変わり、直登となり息が切れる。



9時に山頂の小屋に到着する。  
しかしここが山頂ではない。  
3003m の山頂は雄山神社の奥殿には  
宮司が守っておりお祓いを受けるの  
に 500 円かかる。



山頂神社脇にある頂上の標識



3003 の先端から腹這いになり、御前沢を除くと氷河の先端が見えた。  
日本で現存する氷河と認定されたばかりです。



山頂でお祓いを受け、清めのお神酒を頂く。



登頂記念の写真



登頂を祝しワインで乾杯し、鵜飼さんが待つ一ノ越へ下山する。



下りのガレ場は落石が多く危険で慎重に降りる。



一ノ越山荘が眼下に見えるようになると、下から多数の登山客が群がっており渋滞が始まりそうで、その前に避けながら早目に下る。



一ノ越から再び、室堂までの雪渓にはアリの行列のように一列縦隊で繋がってしまっている。  
何とか、室堂には 10:40 頃には到着し、渋滞が始まる前に到着し、  
11 時室堂発の臨時バスに乗車できた。



美女平 12:00 発のケーブルカーに乗り立山駅に 12:10 に戻り、一安心。



駅レストランで昼食。  
今旬の「白エビ唐揚げそば」で腹を満たす。



千寿荘に駐車しておいたレンタカーで今度は日帰り温泉「グリーンパーク吉峰」で4日間の汗を流し、富山空港へ。



空港のレストランで乾杯。  
定刻 17:05 発の ANA880 便に乗り帰路に着きました。

26日世界遺産の白川郷合掌造りから始まり、日本三大霊山の白山（2702m）と立山（雄山 3003m）登山と盛沢山で充実した3泊4日でした。